



【2回戦・盛岡中央―八学光星】5回八学光星1死満塁、伊藤大將の三塁打で4―5と逆転する―青森市営

絶好の場面で殊勲打初イスタメン藤

高校野球の強豪校での練習に「ついていくだけで精いっぱい」だったという伊藤。苦手を打撃を克服するために冬期間、スイング強化に取り組んだ。チームメイトにフォームを確認してもらいながら、1日に千本以上振った。積み重ねが、自信へと変わった。

今大会を自分の力を見せられるチャンスと位置付ける。「打撃だけでなく、守備にも自信を持てるようになりたい」。逆転の殊勲打をきっかけに、勢いに乗ってさらに上を目指す。

(里村 穂)

ポイント

内角の直球を運び、力強いスイングで左中間を破る適時打を放った。

粘り強く戦って勝利をつかんだ。光星が3点を追う5回の攻撃。伊藤大將監督は「焦らず、1点ずつ返そう」と選手たちに声を掛けた。その言葉通りに1死満塁の好機をつくる。矢野虎弥の適時打で1点を取り返し、続く伊藤大將の三塁打で3点が入って一気に逆転した。

伊藤は今大会、高校で初めてのスタメン入り。県大会で三塁手を務めた下山昂大が、東北大会直前の練習試合で指を負傷したため、その代わりを務めることになった。

久しぶりの公式戦で、逆転につながる絶好の場面で打席が回ってきたが、緊張しなかった。落ち着いて狙えば打てる。

2回戦

盛岡中央00120000
八学光星00000000 7 4 湊

(△) 福山 秋山、松谷 長南、近藤遼、伊藤、但井
(△) 三塁打 伊藤 (△) 二塁打 武田、長崎2 (盛) 長南、近藤遼、伊藤、但井
(△) 守備妨害 島袋 (△) 降、反撃の機会もなかったが、及ばなかった。

光星5回一気逆転

第65回 高校野球 春季東北大会

▷ 第2日 ◁

第65回春季東北地区高校野球大会第2日は8日、青森市の青森市営、青森県営の両球場で2回戦6試合を実施した。

青森県勢は、第1代表の八学光星が盛岡中央(岩手第3)に7―4で逆転勝ち。第3代表の弘前大が

聖光学院(福島第1)に延長の末4―6で借敗した。

9日は準々決勝計4試合を行い、八学光星が福島商(福島第2)と、青森第2代表の弘前東が山形城北(山形第3)とそれぞれ対戦する。(取材班)

【要】八学光星は3点を追う5回1死満塁から、矢野、伊藤、但井の3連続適時打などで一挙6点を挙げて逆転した。先発の福山は中盤まで4失点するも、その後粘投を見せ、リードを

【八学光星】	打	安	振	球
①	4	0	1	1
②	4	0	0	2
③	3	0	0	2
④	3	0	0	2
⑤	3	0	0	2
⑥	3	0	0	2
⑦	3	0	0	2
⑧	3	0	0	2
⑨	3	0	0	2
R	4	0	0	0
H	4	0	0	0
⑩	4	0	0	0
⑪	4	0	0	0
⑫	4	0	0	0
⑬	4	0	0	0
⑭	4	0	0	0
⑮	4	0	0	0
⑯	4	0	0	0
⑰	4	0	0	0
⑱	4	0	0	0
⑳	4	0	0	0
㉑	4	0	0	0
㉒	4	0	0	0
㉓	4	0	0	0
㉔	4	0	0	0
㉕	4	0	0	0
㉖	4	0	0	0
㉗	4	0	0	0
㉘	4	0	0	0
㉙	4	0	0	0
㉚	4	0	0	0
㉛	4	0	0	0
㉜	4	0	0	0
㉝	4	0	0	0
㉞	4	0	0	0
㉟	4	0	0	0
㊱	4	0	0	0
㊲	4	0	0	0
㊳	4	0	0	0
㊴	4	0	0	0
㊵	4	0	0	0
㊶	4	0	0	0
㊷	4	0	0	0
㊸	4	0	0	0
㊹	4	0	0	0
㊺	4	0	0	0
㊻	4	0	0	0
㊼	4	0	0	0
㊽	4	0	0	0
㊾	4	0	0	0
㊿	4	0	0	0
盗	2	0	1	3
失	2	0	1	3
投	2	0	1	3
手	2	0	1	3
澤	2	0	1	3
石	2	0	1	3
古	2	0	1	3
高	2	0	1	3
福	2	0	1	3
山	2	0	1	3
9	2	0	1	3
4	2	0	1	3
3	2	0	1	3
2	2	0	1	3
1	2	0	1	3